



チームワークで安全をつなぐ  
ソラのナビゲーター

# 航空管制官

航空管制官採用試験  
(専門職：大学卒業程度)

## → 主な仕事の内容

### 飛行場管制業務



空港にある管制塔から目視で航空機を捉え、離着陸の許可、飛行場面の走行経路の指示等を出します。

空港を中心に約9km圏内の空域を担当します。

### ターミナル・レーダー管制業務



レーダーで航空機を捉え、離着陸する航空機に針路や高度等を指示し、安全な間隔を保ちながら誘導します。

空港から約100km圏内の空域を担当します。

### 航空路管制業務



レーダーで航空機を捉え、主に巡航中の航空機に指示や許可を与えます。

日本の空港を離着陸する航空機のみならず、外国から外国への通過機にも同様に管制業務を提供します。

## → 採用後の処遇

採用後、航空保安大学校で航空管制に関する基礎知識と技能を習得するための研修を行います。研修が始まる時から国家公務員として給与や賞与、共済組合（健康保険）の対象となり、有給休暇も付与されます。

研修終了後、全国各地の空港や航空交通管制部に配属され、現場訓練を受けた後、航空管制官の業務に従事します。

職場は交替制勤務で、異動は全国の空港や航空官署が対象となります（全国転勤）。

## → 先輩からのメッセージ



飛行場管制は、管制塔から航空機へ離着陸の許可を出すのが主な仕事です。多くの命を預かる責任の大きな仕事ですが、声を通じて空の安全を守る重要な役目です。皆さんも航空管制官を目指してみませんか。

2018年度採用 那覇空港事務所 勤務



レーダー画面に映る航空機を監視して、適切な間隔を保ちながら安全に管制塔など他の航空管制官へ引き継ぐターミナル・レーダー管制を担当しています。皆さんも一緒に空の安全を守りませんか。

2019年度採用 那覇空港事務所 勤務

航空管制官公式ホームページにもっと詳しく掲載しています！



航空管制官 公式

検索

